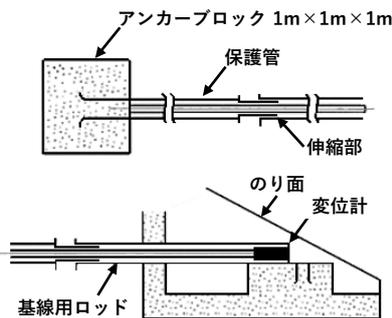


相対変位計／せん断変位計／ ゾーン間沈下計／着岩部変位計

概要

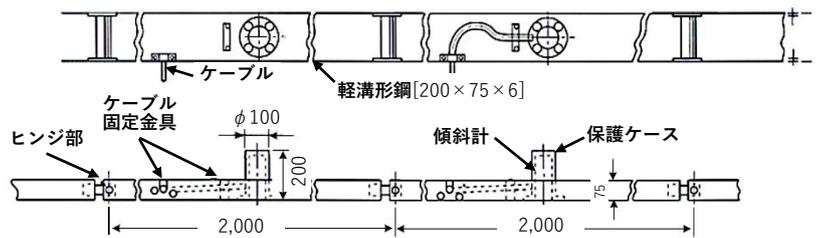
相対変位計

堤体内における水平あるいは任意の2点間の相対変位を測定します。水平多点相対変位計と同様の方法で測定を行います。データの読み取りはすべて電気信号に変換したものととなります。また、のり面の移動量が分かれば、変位計のデータを重ね合わせて、絶対変位が求められます。



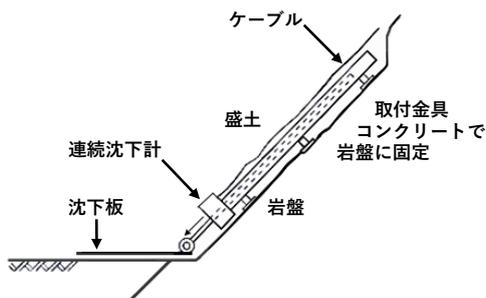
ゾーン間沈下計

堤体内のゾーン間の相対変位を測定します。沈下が予想される位置に、上下流方向に対して水平に0.5～2mピッチで傾斜計を固定した沈下板を埋設し、各点の傾斜を測定して、沈下状態を測ります。傾斜計は保護ケースに収納され、各沈下板はヒンジによって接続されます。



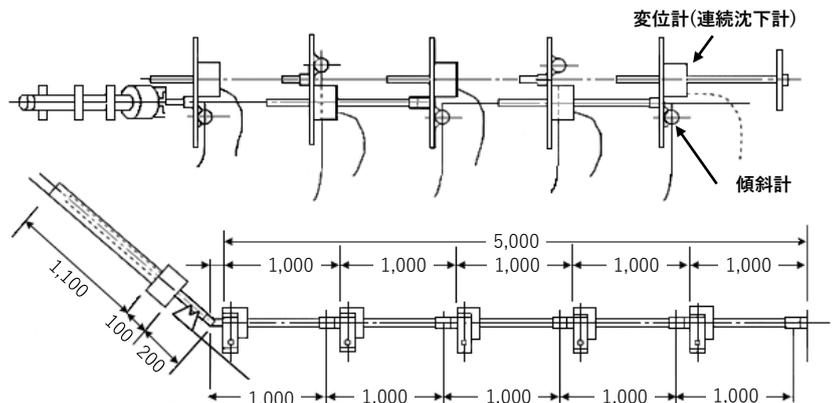
せん断変位計

岩盤と盛土の間に起こる相対変位を測定します。岩盤側に変位計(連続沈下計)とロッドの保護パイプを固定し、盛土内に沈下板を設置します。沈下板に接続されたロッドは、保護管内を通り、変位計にローレットを切ったブリーを介して接続され、沈下板が動くとブリーが回転して、変位計が沈下量を検出します。



着岩部変位計

堤体と岩盤に生じる相対変位分布を求めるシステムです。センサの構成は、岩盤と盛土とのズレを測る部分のせん断変位計と、そのロッドの下端より、ダムセンター方向に順次連続的に設置していく変位計、および傾斜計から成ります。これらのセンサが検出するデータから全体的な相対変位分布がわかります。



仕様

名称	参照製品
相対変位計	※センサ部仕様は、変位計EDL-5000Wを参照してください。
せん断変位計	※センサ部仕様は、連続沈下計ESD-7000Mを参照してください。
ゾーン間沈下計	※センサ部仕様は、傾斜計EIN-5000Jを参照してください。
着岩部変位計	※センサ部仕様は、連続沈下計ESD-7000M、傾斜計EIN-5000Jを参照してください。

お問合せ



坂田電機株式会社
営業部

住所 〒202-0022 東京都西東京市柳沢2-17-20

TEL 042-464-3711

FAX 042-464-3773

Mail eigyoun@sakatadenki.co.jp

WEB www.sakatadenki.co.jp